

貸借対照表
令和 3年 3月 31日

学校法人 伊勢学園
(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	2,155,048,418	2,193,271,676	△ 38,223,258
有形固定資産	2,054,493,926	2,099,194,664	△ 44,700,738
土地	439,578,821	439,578,821	0
建物	1,374,214,404	1,423,950,951	△ 49,736,547
構築物	80,753,361	84,138,468	△ 3,385,107
教育研究用機器備品	126,334,360	117,463,526	8,870,834
管理用機器備品	552,619	1,022,561	△ 469,942
図書	32,603,441	31,496,039	1,107,402
車輛	456,920	1,544,298	△ 1,087,378
特定資産	93,175,000	86,515,000	6,660,000
退職給与引当特定資産	93,175,000	86,515,000	6,660,000
その他の固定資産	7,379,492	7,562,012	△ 182,520
電話加入権	259,984	259,984	0
施設利用権	120,000	120,000	0
敷金	150,000	150,000	0
出資金	3,500,000	3,500,000	0
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
ソフトウェア	349,508	532,028	△ 182,520
流動資産	601,395,158	517,070,853	84,324,305
現金預金	437,040,796	405,372,998	31,667,798
旅行積立預り預金	43,580,009	16,570,009	27,010,000
教材費等預り預金	11,367,973	8,288,405	3,079,568
関連団体等預り預金	60,829,232	43,467,720	17,361,512
未収入金	48,014,612	42,037,908	5,976,704
立替金	0	26,941	△ 26,941
前払金	562,536	1,306,872	△ 744,336
資産の部合計	2,756,443,576	2,710,342,529	46,101,047

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	724,504,430	792,636,162	△ 68,131,732
長期借入金	582,086,000	658,168,000	△ 76,082,000
退職給与引当金	141,086,250	129,938,750	11,147,500
長期未払金	1,332,180	4,529,412	△ 3,197,232
流動負債	297,385,416	261,854,842	35,530,574
短期借入金	61,290,000	60,282,000	1,008,000
未払金	37,058,790	61,712,159	△ 24,653,369
前受金	77,985,000	66,400,000	11,585,000
預り金	5,274,412	5,134,549	139,863
旅行積立預り金	43,580,009	16,570,009	27,010,000
教材費等預り金	11,367,973	8,288,405	3,079,568
関連団体等預り金	60,829,232	43,467,720	17,361,512
負債の部合計	1,021,889,846	1,054,491,004	△ 32,601,158
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	3,229,308,881	3,114,648,104	114,660,777
第1号基本金	3,169,308,881	3,054,648,104	114,660,777
第4号基本金	60,000,000	60,000,000	0
繰越収支差額	△ 1,494,755,151	△ 1,458,796,579	△ 35,958,572
翌年度繰越収支差額	△ 1,494,755,151	△ 1,458,796,579	△ 35,958,572
純資産の部合計	1,734,553,730	1,655,851,525	78,702,205
負債及び純資産の部合計	2,756,443,576	2,710,342,529	46,101,047

注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

① 徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

② 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額 373,527,912 円から公益社団法人三重県私学振興会よりの交付金相当額を控除した金額 141,086,250 円を計上している。

(2) 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金その他経過項目に係る前期末残高は預り金支出とし、当期末残高は預り金収入として
いる。

2. 重要な会計方針の変更等

なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 1,716,059,095 円

4. 徴収不能引当金の合計額 0 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。

土 地	327,997,092 円
建 物	1,373,281,070 円
定期預金	73,400,000 円
合 計	1,774,678,162 円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

601,593,648 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	3,243,600円	2,606,160円
車 輛	4,827,990円	978,060円

9. 関連当事者との取引

(単位：円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員 の兼 任等	事業 上の 関係				
役員及び近親者が議決権の過半数を所有している会社	株式会社西邦建設	三重県伊勢市	30,000,000	建設業	—	—	建物修繕	建物修繕 (注1)	23,749,000	—	—
理事長	中西康裕	—	—	—	—	—	債務保証	当学校法人の借入に対する被保証 (注2)	641,768,000	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 建物・構築物等の改修、修繕については、役員の子親者が当学校法人の理事である株式会社西邦建設以外からも複数の見積もりを入手し、市場の実勢価格を勘案して発注先及び価格を決定している。

(注2) 当学校法人は借入に対して理事長から債務保証を受けている。なお保証料の支払いは行っていない。

事業活動収支計算書

令和 2年 4月 1日 から
令和 3年 3月 31日 まで

学校法人 伊勢学園
(単位：円)

科 目		予算	決算	差異
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	508,690,000	508,765,783	△ 75,783
	授業料	375,231,000	375,097,600	133,400
	入学金	23,637,000	23,637,500	△ 500
	学習費	38,435,000	38,435,520	△ 520
	教育充実費	48,934,000	48,934,000	0
	施設設備費	10,700,000	10,700,000	0
	基本保育料	1,423,000	1,423,900	△ 900
	特定保育料	10,330,000	10,537,263	△ 207,263
	手数料	10,743,000	10,801,800	△ 58,800
	入学検定料	10,066,000	10,088,000	△ 22,000
	試験料	489,000	507,000	△ 18,000
	証明手数料	188,000	206,800	△ 18,800
	寄付金	1,455,000	2,075,000	△ 620,000
	特別寄付金	0	570,000	△ 570,000
	一般寄付金	1,455,000	1,455,000	0
	現物寄付	0	50,000	△ 50,000
	経常費等補助金	359,472,000	360,751,849	△ 1,279,849
	国庫補助金	2,365,000	2,365,000	0
	地方公共団体補助金	274,307,000	275,505,124	△ 1,198,124
	施設型給付費	82,800,000	82,881,725	△ 81,725
	付随事業収入	0	0	0
	雑収入	2,513,000	31,205,761	△ 28,692,761
	施設設備利用料	59,000	58,625	375
	退職資金給付事業交付金	795,000	30,795,000	△ 30,000,000
	その他の雑収入	1,659,000	352,136	1,306,864
	教育活動収入計	882,873,000	913,600,193	△ 30,727,193
	事業活動支出の部	科 目	予算	決算
人件費		528,057,000	559,440,273	△ 31,383,273
教員人件費		448,172,000	445,073,531	3,098,469
職員人件費		67,305,000	67,054,242	250,758
役員報酬		8,620,000	8,620,000	0
退職金		1,575,000	1,575,000	0
退職給与引当金繰入額		2,385,000	37,117,500	△ 34,732,500
教育研究経費		238,263,000	226,375,108	11,887,892
消耗品費		7,956,000	7,765,834	190,166
光熱水費		20,554,000	19,687,006	866,994
旅費交通費		1,640,000	1,481,811	158,189
通信費		2,869,000	2,794,518	74,482
渉外交際費		205,000	163,838	41,162
負担金		339,000	337,575	1,425
広報印刷費		5,337,000	4,711,172	625,828
修繕費		27,893,000	27,653,990	239,010
図書費	2,000,000	1,663,532	336,468	

		科 目	予算	決算	差異
教育活動支出の部	事業活動支出	教材費	26,096,000	25,438,483	657,517
		研修費	570,000	399,799	170,201
		行事費	2,302,000	2,249,652	52,348
		諸会費	1,258,000	1,211,940	46,060
		報酬委託手数料	21,737,000	21,300,389	436,611
		損害保険料	130,000	128,500	1,500
		補助活動経費	57,000	57,000	0
		奨学費	19,207,000	19,776,900	△ 569,900
		賃借料	9,555,000	997,134	8,557,866
		減価償却額	88,558,000	88,556,035	1,965
		管理経費	51,453,000	48,825,078	2,627,922
		消耗品費	2,730,000	2,376,456	353,544
		光熱水費	250,000	203,985	46,015
		旅費交通費	578,000	510,600	67,400
		通信費	263,000	214,987	48,013
		渉外交際費	2,207,000	1,595,607	611,393
		広報印刷費	7,983,000	7,700,386	282,614
		修繕費	333,000	282,876	50,124
		研修費	10,000	2,200	7,800
		行事費	4,794,000	4,547,447	246,553
		諸会費	1,253,000	1,250,880	2,120
		報酬委託手数料	12,554,000	12,382,618	171,382
		損害保険料	2,791,000	2,772,890	18,110
		補助活動経費	8,429,000	8,426,186	2,814
		賃借料	3,977,000	3,974,716	2,284
		公租公課	390,000	332,800	57,200
		職員共済福利費	525,000	449,534	75,466
		雑費	600,000	17,239	582,761
		減価償却額	1,786,000	1,783,671	2,329
		徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	817,773,000	834,640,459	△ 16,867,459	
	教育活動収支差額	65,100,000	78,959,734	△ 13,859,734	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	134,000	135,420	△ 1,420
		その他の受取利息・配当金	134,000	135,420	△ 1,420
		その他の教育活動外収入	1,500,000	1,500,000	0
		収益事業収入	1,500,000	1,500,000	0
		教育活動外収入計	1,634,000	1,635,420	△ 1,420
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	12,544,000	12,542,759	1,241
		借入金利息	12,544,000	12,542,759	1,241
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	12,544,000	12,542,759	1,241
	教育活動外収支差額	△ 10,910,000	△ 10,907,339	△ 2,661	
	経常収支差額	54,190,000	68,052,395	△ 13,862,395	

特別	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	10,262,000	10,685,039	△ 423,039		
現物寄付	892,000	1,315,039	△ 423,039		
施設設備補助金	9,370,000	9,370,000	0		
特別収入計	10,262,000	10,685,039	△ 423,039		
特別	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	35,229	35,229	0
教育研究用機器備品処分差額	7	7	0		
管理用機器備品処分差額	1	1	0		
図書処分差額	35,221	35,221	0		
その他の特別支出	0	0	0		
特別支出計	35,229	35,229	0		
特別収支差額	10,226,771	10,649,810	△ 423,039		
基本金組入前当年度収支差額	64,416,771	78,702,205	△ 14,285,434		
基本金組入額合計	△ 115,898,837	△ 115,898,837	0		
当年度収支差額	△ 51,482,066	△ 37,196,632	△ 14,285,434		
前年度繰越収支差額	△ 1,458,796,579	△ 1,458,796,579	0		
基本金取崩額	1,238,060	1,238,060	0		
翌年度繰越収支差額	△ 1,509,040,585	△ 1,494,755,151	△ 14,285,434		

(参考)

事業活動収入計	894,769,000	925,920,652	△ 31,151,652
事業活動支出計	830,352,229	847,218,447	△ 16,866,218

財 産 目 録

学校法人 伊 勢 学 園
(単位:円)

令和3年3月31日

資 産 の 部	
科 目	本 年 度 末
固 定 資 産	2,155,048,418
有 形 固 定 資 産	2,054,493,926
土 地	439,578,821
建 物	1,374,214,404
構 築 物	80,753,361
教 育 研 究 用 機 器 備 品	126,334,360
管 理 用 機 器 備 品	552,619
図 書	32,603,441
車 輛	456,920
特 定 資 産	93,175,000
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	93,175,000
そ の 他 の 固 定 資 産	7,379,492
電 話 加 入 権	259,984
施 設 利 用 権	120,000
敷 金	150,000
出 資 金	3,500,000
収 益 事 業 元 入 金	3,000,000
ソ フ ト ウ ェ ア	349,508
流 動 資 産	601,395,158
現 金 預 金	437,040,796
旅 行 積 立 預 り 預 金	43,580,009
教 材 費 等 預 り 預 金	11,367,973
関 連 団 体 等 預 り 預 金	60,829,232
未 収 入 金	48,014,612
立 替 金	0
前 払 金	562,536
資 産 の 部 合 計	2,756,443,576

負債の部	
科目	本年度末
固定負債	724,504,430
長期借入金	582,086,000
退職給与引当金	141,086,250
長期未払金	1,332,180
流動負債	297,385,416
短期借入金	61,290,000
未払金	37,058,790
前受金	77,985,000
預り金	5,274,412
旅行積立預り金	43,580,009
教材費等預り金	11,367,973
関連団体等預り金	60,829,232
負債の部合計	1,021,889,846

令和3年3月31日

資産総額 金1,734,553,730円

令和2年度 事業実績報告書

学校法人 伊勢学園

1. 卒業生進路状況

学校名	学科	卒業生	大学	短大	専門学校	就職	その他
伊勢学園高等学校	普通科	196	31	17	92	50	6
保健衛生専門学校	看護	28				27	1
	歯科	26				26	
調理製菓専門学校	調理	11			1	10	
	製菓	4			1	2	1

*その他 家業従事・家事手伝等

2. 資格取得状況

学校名	資格	受験者	合格者	合格率	備考
伊勢学園高等学校	介護職員初任者研修	32	32	100%	
保健衛生専門学校	看護師	28	28	100%	
	歯科衛生士	26	23	88%	
	介護職員初任者研修	23	23	100%	
調理製菓専門学校	調理師	11	11	100%	
	製菓衛生師	3	2	67%	
	ふぐ取扱認定者	3	3	100%	

3. 令和3年度入学者募集状況

学校名	学科	定員	応募者	受験者	合格者	入学者
伊勢学園高等学校	普通科	220	658	656	493	283
保健衛生専門学校	看護	40	60	59	52	32
	歯科	40	43	42	41	35
調理製菓専門学校	調理	40	8	8	8	8
	製菓	70	8	8	8	8
双康幼稚園	(全体)園則定員180 (全体)運営定員90		申込者37			32

(内男子4名)

(内Wライセンス1名)
(内Wライセンス1名)

4. 在籍者数の推移 : 別紙のとおり

5. 各所属の事業実績 : 別添 事業実績報告書のとおり

学生(園児)在籍者数・教職員数

令和3年5月1日現在

	令和3年度		教職員数
	募集定員	在籍数	
高等学校 1年	220	283	
2年	220	237	
3年	220	223	
(高等学校 小計)	660	743	47
保健衛生 看護 1年	40	39	
2年	40	42	
3年	40	28	
看護 計	120	109	
保健衛生 歯科 1年	40	37	
2年	40	27	
3年	40	26	
歯科 計	120	90	
(保健衛生 小計)	240	199	17
調理製菓 調理	40	8	
製菓	70	8	
(調理製菓 小計)	110	16	4
双康幼稚園 2歳児	90	12	
3歳児		30	
4歳児		25	
5歳児		35	
(幼稚園 小計)	90	102	15
合 計	1100	1060	83

男 137
女 146
男 112
女 125
男 96
女 127
男 345(46%)
女 398

男子 16

伊勢学園高等学校 令和2年度事業実績報告

1 教育活動の推進

建学の精神に則り、生活指導・学習指導・進路指導を中心に保護者、生徒、中学校から確かな信頼が得られる学校を目指すために、教育内容の充実を図った。

- (1) 日々の生活指導を通じて、規範意識を高め、基本的な生活習慣（服装・頭髪・挨拶・言葉遣い・交通マナー・校内美化等）の確立に努めた。
- (2) きめ細かい生活指導により、非行防止・退学防止に努め、成果を上げた。
- (3) カウンセラーによる相談を始めとした、柔軟かつ丁寧な教育相談体制づくりを進めた。
- (4) クラブ活動を活性化し、学校への帰属意識を高める取り組みを展開した。
 - ・女子ソフトボール部：全国私立高等学校女子選抜大会に出場した。
 - ・陸上部：県大会で入賞者を輩出し、男子円盤投で全国大会に出場した。
 - ・弓道部：県新人大会で優勝、県選抜大会で3位入賞し、東海大会に出場した。
- (5) 習熟度別学習、学び直し学習により、基礎的・基本的な能力の育成を図った。
- (6) 1年次より進路意識を醸成し、生徒一人ひとりに応じた進路指導に努めた。

2 職員研修の充実

教員が感性を磨くとともに、教育に係る力量の向上を図るため、各種研修に取り組んだ。

- (1) 基礎力定着のための研修会・教科会の充実（先進学校の視察、現職教育等）
- (2) 人権教育研修の実施

3 危機管理対策の実施

- (1) 人権侵害・いじめ防止対策として、ネットパトロールを利用し、早期対応を実施した。

4 生徒募集活動の充実

令和2年度生徒募集に当たり、中学校訪問、中学校の進路説明会への参加、夏休み中学生体験教室の開催、学校見学・相談会の開催、チラシの折り込み等、教職員一丸となって募集活動を展開した結果、募集定員220名を上回る245名の入学生を確保することができた。

伊勢保健衛生専門学校 令和2年度事業実績報告

1 教育活動の推進

看護師、歯科衛生士を目指す学生に対し、専門知識・技術の習得やコミュニケーション能力の向上等を通じて、地域社会で貢献できる人材の育成を推進した。

2 学習指導

修業年限内での単位履修を目指し、学習・実習指導の充実に努めた。

<課題>看護学科の各学年において留年者の比率が高い。

退学する学生については、例年に比べ抑えることができた。

・R2年度1年生6人、2年生1人、3年生1人、計8人（前年度15人）

質の高い学生の確保と、入学後の学習面、精神面のフォローが課題。

○看護学科 R3年度1年生39人中、留年者が7人在学（前年度12人）

2年生42人中、留年者が10人在学（前年度9人）

3年生28人中、留年者が9人在学（前年度7人）

	看護学科			歯科衛生学科		
	R1.5.1	R2.5.1	R3.5.1	R1.5.1	R2.5.1	R3.5.1
1年	46	52	39	29	28	37
2年	41	30	42	28	30	27
3年	33	31	28	21	26	26
当該年度卒業生	32	28	—	20	26	—

3 国家試験

国家試験合格率100%を目指し、国家試験対策の充実に努めた。

○看護師：全員合格 ○歯科衛生士：3名不合格

4 進路指導

○看護学科：卒業生28名全員が県内で就職（内1名は自営）した。

○歯科衛生学科：国試合格者23名のうち、18名が県内に、5名が県外に就職した。

5 学生募集

令和3年度学生募集に当たり、学校訪問、ホームページの活用、チラシの折り込み、オープンキャンパスの開催等、教職員一丸となって学生募集活動を展開したが、募集定員80名に対し67名の入学にとどまった。

○看護学科：定員40名に対し、32名（うち男性4名）が入学した（前年度40名）。

・大学の看護学部が増加していること等の影響を受け、応募者が大幅に減少するとともに合格辞退者が20名（前年度19名）に達した。この傾向は今後も続くと考えられるので、定員の確保とともに質の高い学生の確保が大きな課題である。

・応募者数 60名（前年度74名）

○歯科衛生学科：定員40名に対し、35名が入学した（前年度28名）。

・合格辞退者は、6名（前年度1名）。近年、応募者は30名程度で推移してきたが、本年は大幅に増加した（43名）。この実績を今後につなげていくことが課題である。

6 学校評価の実施・公表等

教育活動その他学校運営状況について評価を行い、評価結果の概要をホームページに掲載するとともに、学校関係者評価委員会を開催し外部委員との意見交換の場を持った。

伊勢調理製菓専門学校 令和2年度事業実績報告

1 教育活動の推進

学生の資質及び技術向上を目指し、下記の取組を実施した。

<調理師科>

- (1) 4月～5月：休校中の対応として、実技実習の動画配信を行い、学生の自学自習を促した。
- (2) 5月～：日本料理、フランス料理、中国料理等の基礎技術の繰り返し実習を行った。
- (3) 6月～：メニューに沿った料理の組み立て及びそれに伴う技術の習得を行った。
- (4) 夏季休業中：ホテル、旅館等において現場研修を実施し、仕事のノウハウを習得した。
- (4) 1月～2月：本膳料理、テーブルマナー（校外・校内）などで実践実習を行った。
- (5) 2月：作品展示会を実施し1年間の習得技術の成果を発揮した。

<製菓衛生師科>

- (1) 4月～7月：洋菓子、和菓子、製パンの基礎的技術の習得に努めた。
- (2) 9月以降：シュガークラフトを始め、チョコレート細工・あめ細工等の工芸菓子の技術を習得するとともに、洋菓子、和菓子、製パンにおいては応用技術の習得に努めたほか、ラッピング技術等、販売業務に係る技術知識を習得した。
- (3) 1月～2月：婚礼用菓子、テーブルマナー（校外・保護者会）などの実践実習、洋菓子、和菓子等製作し、飾りつけ（盛り付け）などを経験した。
- (4) 2月：作品展示会を実施し1年間の習得技術の成果を発揮した。

2 国家試験等について

- (1) 製菓衛生師国家試験は、既卒者の受験希望者3名受験、うち2名合格であった。
- (2) ふぐ取扱認定者は、受講者3名全員合格であった。

3 進路指導について

4回の学生面談、7月の企業の職場説明会、9月の三者懇談会を通じ、きめ細かい進路指導を実施し、ほぼ全員の就職に繋がった。

4 学生募集について

令和3年度学生募集に当たり、高校訪問、進路説明会への参加、オープンキャンパスの開催、チラシの折り込み等、募集活動を行ったが、調理師科8名、製菓衛生師科8名の入学にとどまった。

なお、「ワーキング制度」の利用は、調理業務希望者の減少により実績無しであった。

双康幼稚園 令和2年度事業実績報告

1 教育活動の推進

知育、徳育、体育に食育を含めて柱とし、特色ある教育を実施し、きめ細かい教育を実践した。4月から5月の臨時休園期間中には制作活動やダンスなどの動画を作成・配信して自宅で「幼稚園ごっこ」を体験してもらおう環境づくりを実施した。

2 特色ある教育

(1) 幼児英語を推進する。

- ・カナダ人講師による「英語で遊ぼう」の時間を各クラス週1回実施した。
- ・幼児英語については、大変好評であり保護者の期待も大きい。

(2) 幼児体育（スポーツ）に努める。

- ・東京幼年体育振興会講師の指導のもと、「体育」の時間を年中・年長の各学年週1回実施した。（体力づくり、運動機能づくり、集団行動・礼儀を身につける。）

(3) 手づくりの完全給食を推進する。

- ・「旬の食材」を積極的に使用し、「おいしい給食」「楽しい給食」「安全な給食」に心がけ、園児・保護者からも好評であった。
- ・アレルギー対応を含め、細心の注意により事故なく完全給食を実施できた。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、対面での喫食を避けるとともに、年長組は保育室での給食とした。

3 関係機関との連携

(1) 小学校との滑らかな連携に努める。

- ・年長クラスを中心に就学を意識した取り組みを行うとともに、保護者を対象に伊勢市教育研究所講師による就学前講話を実施した。

(2) 家庭と信頼された連携に努める。

- ・連絡帳等を活用して園と保護者の相互理解を図るとともに、「緊急連絡メール」の活用による迅速な連絡に努めた。

4 子育て支援事業

- (1) 預かり保育を推進した（通常保育日数182日中176日実施、一日平均11人）。
- (2) 園庭開放事業を実施した（年間12回、延べ106人参加、一回平均8人）。

5 園児募集について

令和2年度園児募集に当たり、ポスター掲示、チラシの折り込み、「広報いせ」への掲載、見学説明会の開催等、募集活動を展開した結果、2歳児12名、3才児新規入園19名を確保することができた。

6 学校評価

学校自己評価を実施するとともに、学校関係者評価を実施する。

令和3年5月21日

学校法人 伊勢学園

理事長 中西康裕 様

学校法人 伊勢学園

監事 小西



監事 右江知

令和3年5月21日、令和2年度学校法人伊勢学園事業報告及び収入支出
決算等について、監査した結果は、次のとおりです。

記

- 1 会計経理事務は、適正に処理されているものと認める。
- 2 教育活動収支をみると、学生生徒等納付金は、平成27年度をピークに減少傾向が続いているものの、補助金収入が大幅に増加したこと、及び教員人件費が減少したことなどにより、収支差額が前年度よりも増加し堅実な経営状態が続いていると言える。
- 3 こうした経営状況によって余剰資金を活用し、学生生徒等の学習環境整備への投資や、長期借入金について計画的な返済に留まらず繰上返済を行ったことについては評価できる。
- 4 令和3年度入学（園）へ向けての募集活動等について
 - (1) 高等学校においては、県内の中学校卒業者が減少することに伴う調整の中で、平成31年度から募集定員を10人減の220人としている。
南勢地域の中学卒業生数が近年で最も落ち込み、前年比200人超減少した中で、募集定員を大幅に上回る283人の入学生を確保することができたことを評価する。引き続きの取組を期待する。

- (2) 保健衛生専門学校の入学者に関しては、ほぼ平年水準の学生を確保できたが、これは歯科衛生学科の入学者数が伸びたことによるものであり、看護学科での入学者数は大きく減少した。いずれにせよ両学科ともに定員を満たしていないため、定員確保に向けての取組を工夫する必要がある。
- (3) 調理製菓専門学校では学生数の大幅な減少に改善がみられず、この状況が続くと存続の危機を迎えることとなるので、新たな視点での募集活動を試みる必要がある。
- (4) 幼稚園では、2歳児は定員の確保ができたが、3歳児の新規入園者は前年度と同程度の19人とどまった。少子化が進行する中、特色ある教育内容をアピールした募集活動に期待したい。
- 5 健全な学園経営を維持・確保していくためには、各所属校（園）において、教職員が感性を磨くとともに、その力量向上をベースに教育活動を充実することにより、学生・生徒・園児及び保護者の満足度向上に繋げることが重要である。
- 6 新型コロナウイルス感染症に関しては、現在のところ最小限の影響に抑え込んでいるものと受けて止めているが、変異ウイルスへの置き換わりが進行する中、より一層感染症防止対策を徹底し、遠隔授業など学生・生徒等の学びを止めないための準備・工夫を行っていく必要がある。

以上